

# Caremanagement Of Katsushika

# 広 報 け あ と も

発行

葛飾区介護サービス事業者協議会  
 居宅介護支援部会 広報委員会  
 編集責任者 江畑 純子

## 事業所連絡会 報告

11月22日(木)10時から、男女平等推進センター多目的ホールにて、事業所連絡会が行われました。その中で、実施指導で気づいた点として、介護保険課管理係 池田雅弘氏より、以下の連絡事項がありました。

- ①居宅サービス計画書について
    - ・居宅サービス計画書2表の短期目標とサービス提供期間の不一致が多い。
    - ・居宅サービス計画書1～3表を6ヶ月ごとに作り直していない。
  - ②重要事項説明書について
    - ・事故発生時の対応の記載が無い。
    - ・苦情窓口に、区役所及び国保連の記載が無い。
    - ・契約の自動終了に、要支援となった場合が抜けている(予防が別書類の場合)。
- 東京都介護サービス情報書式ライブラリーの『運営規定の例』等を参照に、再確認をお願いします。

## 11月研修会 報告

11月21日(水)14時より、シンフォニーヒルズ別館5階 レインボーにて、研修会を開催しました。

今回の研修は、講師に、東京都老人総合研究所精神科医 臼井樹子氏をお迎えして、「ケアマネとして知っておいて欲しい知識」を学びました。

近年、認知症高齢者の方が、犯罪被害に巻き込まれたり、トラブルをおこしたり等の事例が、多く聞かれるようになりました。こうしたトラブルを防ぐ為にも、「認知症高齢者の理解」と「認知症の早期発見」という観点から、多くの事例を交えながら、分かりやすく、お話しして頂きました。

私たちケアマネジャーは、「個々人の前職」により、その仕事が大きく影響されがちですが、全てのケアマネジャーが、①「医学的見地からの知識」をしっかり身につけ、「認知症の早期発見」を可能にすること、②認知症の方の介護の苦悩の実態を理解し、家族だけで抱えこまないよう、専門職として積極的に介入すること(医療従事者を含む)、③認知症高齢者が、犯罪に巻き込まれないように職業的責任感を持って対処することが、今後求められるということでした。

講演に当たってお話がありました、協議会会長 土田英夫氏の挨拶どおり、今後はその力量が大きく問われることになる私たちケアマネジャーにとって、奮起を促される良い研修会となりました。

## 1月研修会 お知らせ

日時：平成20年1月17日(木) 14:00～16:30  
 場所：シンフォニーヒルズ別館5階 レインボー

先日お知らせしましたが、「自立支援に基づいてICFを学ぶ」と題して、講師に、特別養護老人ホーム青梅療育院 林 正氏をお願いしています。

ICFをしっかり理解し、今後の居宅サービス計画書の作成に、活用していけるようにしていきます。

## 耳寄りお役立ち情報

今回は、11月の研修会の補完として、「老人性認知症疾患専門病棟」について、お伝えします。

この「老人性認知症疾患専門病棟」とは、認知症疾患の方に対し、適切な精神科治療を、短期間で集中的に行うことを目的とした専門病棟のことです。

入院できる方は、都内に住所のある寝たきり状態でない方で、認知症による著しい精神症状、問題行動(幻覚、妄想、不安、イライラ、怒りっぽい、落ち着きがない、徘徊、大声、興奮、不潔行為、まとまらない行動等)を示し、積極的な精神科医療が必要と診断された方が対象となります。

入院期間は、症状により異なりますが、症状が落ち着くのは概ね3ヶ月くらいと言われていま

す。

東京都立精神保健福祉センター  
 〒110-0004 台東区下谷1-1-3  
 TEL 03-3842-0949

上記、「高齢者精神医療相談班」に確認したところ、ケアマネジャーからの直接の相談も受けられるとのことですが、訪問するかどうかは相談の後になるそうです。また、地域包括支援センターや区役所の方も一緒に関わって欲しいとのことでした。

## 編集後記

今月号より新広報メンバーによる「けあとも」発行が始まりました。これまで同様、この一年間もどうぞ宜しくお願いいたします。

今年もあと数日、巷には冷たい風が吹いていますが、私たちはホットな心を忘れず元気に新しい年を迎えたいものですね。(江)